

親睦活動月間

Governor's Message

多様性の中から創造的發展を

国際ロータリー第2750地区 2012-13年度 ガバナー 佐久間 崇源



2012-13年度も最後の月を迎えました。この一年間各クラブを訪問し、ロータリーの様々な面に触れる事が出来ました。数十年の伝統を持つクラブ・設立されて間もないクラブ・独自の活動を積極的に推進するクラブなど、枚挙に暇がないほどです。

地区外のロータリー活動を含め、私自身も多くのことを学ばせていただきました。東京米山ロータリーEクラブ2750では、パソコンを見ながらスピーチをするという経験で少々緊張いたしました。出身国が異なる会員の活発な議論と活動への前向きな姿勢に、新しい方向性を垣間見たような気がします。古いクラブでは、伝統の重みとロータリーの「和らぎと親睦」を感じましたが、これは単に同世代への共感だけではありません。長い年月によって育まれてきた、いぶし銀のような輝きも貴重です。新旧が時に反発しながらも融合し、多様性の中から創造的發展をすることが重要だと私は考えております。

この一年、「ロータリーを楽しもう」という地区モットーはかなり浸透し、ご理解いただけたのではないのでしょうか。ロータリーの活動は会員の義務ではなく権利であって、楽しんで取り組むことをお伝えしたかったのです。地区大会では例年になく大勢の方が最後までご参

加され楽しんでいただけたことは、今年度の大きな成果だったと自負しております。

各クラブの積極的な奉仕活動への取り組みとご協力に対し、衷心より感謝の念に堪えません。

お陰様で、様々な地区目標も達成することが出来そうです。中でも、皆様に寄付の重要性を理解していただいたことに誇りを感じています。

ロータリーは100年を超える歴史の中で変革に取り組み前進してきました。今年度は「規定審議会」があり新しい方向性が示されましたが、ロータリーの変化を受け入れていく努力はこれからも続くことでしょう。

アメリカのケネディ大統領は就任演説で、「米国民の同胞の皆さん、あなたの国があなたの為に何が出来るかを問わないでほしい。あなたがあなたの国の為に何が出来るかを問うてほしい。」と訴えました。

皆様がロータリアンであることに誇りを持ち、あなたがロータリーの為に、世界の為に、何が出来るかを問いかけて下さい。皆様が積極的に参加されることによって、ロータリーは新たな力を得ることが出来ます。前向きに真摯に奉仕を実践することが、ロータリーと私達の未来につながると信じています。

この一年間、皆様と共に歩み感動をいただいたことに感謝申し上げます。

INDEX

① ガバナーメッセージ
[多様性の中から創造的發展を]
地区協議会開催報告

② 地区行事日程

③ 千代田グループ/銀座・日本橋グループ

2012-13年度を振り返って [各グループガバナー補佐/常設委員会委員長]

④ 京浜グループ/山の手東グループ

⑤ 山の手西グループ/多摩南グループ

⑥ 多摩中グループ/多摩東グループ

⑦ PB グループ

⑧ クラブ支援委員会/会員委員会

⑨ 新世代支援委員会/ロータリー財団委員会

⑩ 米山記念奨学委員会

⑪ 多摩東グループ 活動通信

⑫ 寄付報告/文庫通信/物故

⑬ 出席報告/編集後記

地区協議会開催報告



RI 2750地区 2013-14年度 地区協議会開催報告

2013-14年度 代表地区幹事(統括) 鈴木 齊(東京城南RC)

1. 開催報告

総合進行・司会：鈴木 齊(東京城南RC)・

波多野容子(東京恵比寿RC)

開催日時：2013年5月20日(月) 午前8時30分 登録開始

午前9時30分 開会

開催場所：(全体会議) グランドプリンスホテル新高輪「飛天」
(分科会)

- | | |
|---------------|----------------|
| I. 会長部会 | II. 幹事・会計部会 |
| III. 新世代部会 | IV. 奉仕プログラム部会 |
| V. R財団部会 | VI. 会員増強部会 |
| VII. 米山記念奨学部会 | VIII. 公共イメージ部会 |

プログラム

1. 第2750地区84クラブ(除くPBG)会長エレクトのご紹介(壇上にて)



9:30～12:30

ガバナー補佐8名・グループ幹事8名 壇前にて、ご紹介。

2. (点鐘と歓迎のことば) 舟木ガバナー・エレクト

3. (国歌斉唱と新ロータリーソング「友」紹介) 坂本博士ソングリーダー(「友」作者)

- ▶ 激励のことば(佐久間ガバナー)
- ▶ 国際協議会報告と「新しい風」(舟木ガバナー・エレクト)
- ▶ クラブ役員の役割と責務(市川研修リーダー)
- ▶ 「戦略」と「草の根」(松下戦略室長)
- ▶ 舟木年度地区大会概要(野上地区大会委員長)
- ▶ 次期一般会計予算承認(鷹野財務委員長)
- ▶ セッションガイダンス(次期地区研修委員会)

—昼食休憩—

13:15～16:55

4. 分科会 I～VIII(それぞれの分科会会場)

- ▶ 分科会結果発表(セッション・リーダー)
- ▶ 13-14年度 国際大会シドニー(須藤大会推進委員長)
- ▶ 第12回 日韓親善会議(西山副委員長)
- ▶ 「いよいよ本番！」(市川研修リーダー)
- ▶ 閉会のことば(舟木ガバナー・エレクト)

出席会員： 2013-14年度クラブ役員理事 686名

地区出向委員 111名

合計 797名



2. 「地区協議会」の意義について

2013-14年度を迎えるにあたって、舟木ガバナー・エレクトは本年1月「国際協議会San Diego」に向かわれ、RI会長のテーマ、RI強調事項の推進、舟木年度の「新しい風」、さらには地区重点目標と構想を積み重ね、帰国後、①地区チーム研修セミナー ②クラブ会長・エレクト研修セミナー、③地区協議会の所謂3大研修セミナーを用意して1年間の第2750地区ロータリー活動のそれぞれの役割を担った皆様に、その意義を広く研鑽して頂き、効果的なクラブ運営での成果がえられるよう準備をされました。

「地区協議会」の開催目的は、あくまでもクラブの次期指導者(役員・理事・クラブ委員会委員長、委員等)が任務に備えるための研鑽の場を提供することであり、参加者はクラブ会長・エレクトから指名された指導的役割を担ったクラブ会員の為にプログラムされねばなりません。

3. 「新しい風」について

舟木ガバナー・エレクトは「新しい風」とは、「奇抜なことをやろうと言っているものではありません。まずはクラブに新しい風を吹かせましょう」と提唱しています。「クラブが基本」という原点に立ち返れば、多くの場面に「新しい風」を起こす可能性があります。「何かが変わった」と云う年にしようではありませんか！すべてのロータリアンがクラブを拠点に生き生きとした自立性を取り戻せば、社会の再生は叶います。それが「新しい風」が目指す目的地なのです。





地区行事日程（6月・7月・8月）

6月 2日(日) 14:30～19:00 2012ー13 青少年交換 来日生修了式・歓送会/派遣生激励会・50周年祝賀懇親会 オリンピック青少年センター

6月 3日(月) 2012ー13 地区役員会 **中止**

6月 3日(月) 15:00～16:50 2012ー13 地区拡大運営連絡会 ガバナー事務所

6月 4日(火) 13:00～20:30 2012ー13 RLI 卒後コース・懇親会 オリンピック青少年センター

6月 6日(木) 15:00～19:00 2012ー13 クラブ会長・幹事会及び地区役員・委員会合同会議/打上げ懇親会 目黒雅叙園

6月 8日(土) 15:00～18:30 東京武蔵府中RC 創立25周年記念式典 大國魂神社

6月 8日(土) 10:30～20:30 R平和センター・ホストエリア・セミナー/
R平和センター年次セミナー(ICU主催)第10期ロータリー平和フェローの修了会 ICU

6月14日(金) 15:00～17:00 2012ー13 第6回地区新会員オリエンテーション 黒龍芝公園ビル9階会議室

6月15日(土) 14:00～17:00 地区会員増強セミナー 航空会館

6月23日(日) 2013年リスボン国際大会（～26日） ボルトガル リスボン

6月23日(日) 6:30～ 8:30 2013年リスボン国際大会 日本人朝食会 シェラトンリスボアホテル&スパ

6月24日(月) 19:00～21:30 2013年リスボン国際大会 ガバナーナイト フォーシーズンズホテル・リッツ・リスボン

7月 1日(月) 11:45～15:00 ガバナー・元・次期ガバナー懇談会 グランドプリンスホテル高輪

7月 1日(月) 18:30～20:30 舟木年度キックオフ 都ホテル東京

7月11日(木) 舟木年度 第一回クラブ会長・幹事会 都ホテル東京

7月21日(日) 2013ー14 青少年交換 派遣生第一次選考試験 オリンピック青少年センター

7月28日(日) 2013ー14 青少年交換 派遣生第二次選考試験 オリンピック青少年センター

7月30日(火) 10:00～13:30 ガバナー公式訪問 田園調布緑RC・蒲田RC ブラザ・アベア

8月 1日(木) ガバナー公式訪問 品川IRC・港南RC・マリーンRC

8月 2日(金) ガバナー公式訪問 大崎RC・白金RC

8月 6日(火) ガバナー公式訪問 大井RC・京浜RC・高輪RC

8月 8日(木) ガバナー公式訪問 大森RC・羽田RC

8月 9日(金) ガバナー公式訪問 田園調布RC・品川中央RC

8月20日(火) ガバナー公式訪問 多摩RC・稲城RC・多摩グリーンRC

8月21日(水) ガバナー公式訪問 府中RC・武蔵府中RC

8月21日(水) ガバナー公式訪問 狛江RC・たまがわRC

8月22日(木) ガバナー公式訪問 調布RC・調布むらさきRC

8月24日(土) 10:00～16:00 インターアクト・クラブ地区年次大会

8月26日(月) ガバナー公式訪問 iンティRC

★青文字は2013ー14 舟木年度 行事予定です。

千代田グループ



2012-13年度を振り返って

千代田グループ ガバナー補佐 浅川 博道 (東京みなとRC)



助走期間を入れると約2年間、さまざまな思いが去来しますが、印象深いいくつかの活動を振り返ってみたいと思います。

1.ガバナー公式訪問の感想

ガバナーとクラブ三役との協議は、終始和やかな雰囲気の中で進められ、特にクラブ側から運営上の悩みや地区に対する率直な意見や質問が活発に出されたのが印象的でした。

例会での卓話も、ガバナー自らのロータリー経験やそれぞれのクラブの歴史や現状に触れながらの方針徹底であったため、ガバナーの存在がより身近に感じられる公式訪問であったと思います。

2.復興支援プロジェクトの展開

支援活動の継続は重要な課題ですが、各クラブとも独自にあるいは他クラブと合同で取り組んできております。

この中で、本年度の地区支援金を活用したプロジェクトを列記しますと、陸前高田市中学校運動場整備事業（東京赤坂RC・他クラブと合同）、南三陸町キッズ・プロジェクト・

2012（東京レインボー RC）、福島県保原高校「がれきに花を」プロジェクト（東京麻布RC・他クラブと合同）

3.千代田グループの合同行事

一つは、毎年約30万人の人出が見込まれる地元港区の区民まつりに、7クラブの復興支援活動を紹介する展示ブースを設け、ロータリーの公共イメージ向上に一役買いました。

一つは、IMの趣向を変え、支援活動に東奔西走する東北のオーナーシェフ・奥田政行氏の講演と料理を中心に、クラブ相互の交流を深める夕べを開催しました。

4.出会いは人生の彩り

この2年間、地区やクラブで多くのロータリアンの方々と出会いが生まれ、温かいご指導を賜りました。佐久間年度の地区方針は「ロータリーを楽しもう」ですが、私にとって一番の楽しみは出会いの輪が広がることです。出会いには、彩りを添えるという意味合いもあるようで、皆様との多くの出会いによってロータリー人生に新しい彩りを添えることができました。

銀座・日本橋グループ



2012-13年度を振り返って

銀座・日本橋グループ ガバナー補佐 岡 常吉 (東京日本橋RC)



銀座、日本橋グループはグループ協議会を計4回開催し意志の疎通に努めた。即ち、各クラブの戦略計画の推進、会員増強、ガバナー公式訪問に対する準備、地区大会開催の為の出席率向上と大会運営に対する協力を柱とし、意見交換を行った結果、グループ内会長・幹事の親睦も図られグループとしての一体感が増加した。

ガバナー公式訪問を通じ、事前のガバナー補佐訪問により各クラブの長所・短所が明確となり公式訪問をより効果的なものとする事が出来た。

この間、東京銀座新ロータリー・クラブ（以下RC）は創立25周年を迎えガバナーをはじめ、グループ各会長が出席し盛大に祝う事が出来た。

また、東京日本橋RCは5月に、東京銀座RCは6月に「創立55周年式典・祝賀会」が開催される。

会員増強については、平成25年3月末現在、銀座・日本橋グループは会員合計860名に達し19名の増加となった。この内、東京日本橋RCは4月には190名となった為、第2750地区では第1位 東京中央RCに次いで第2位を確保した。

この様に会員増強が順調に推移した結果、ロータリー財団寄付および米山記念奨学会寄付についても目標を上回る見通しとなった。

GSEについては、東京中央RC、東京シティ日本橋RCが担当となり、銀座・日本橋の見学をはじめ来日メンバーの関心に応えた。来日初例会は東京日本橋RCが担当した。

期末の地区表彰については各クラブから申請中であるが、東京銀座新RCはガバナー賞を申請中である。

地区大会については東京日本橋RCが前年度担当クラブであった経験もあり、グループ合計で400名以上の登録となり、盛大な大会となった。

由紀さおり姉妹によるコンサートは特に好評であった事を加えておきたい。

期末まで残りわずかとなったが、リスボン国際大会への参加を呼び掛けているところである。

最後にこの1年を振り返り、佐久間ガバナーをはじめ、辰野地区研修リーダー、服部副リーダーの御協力を頂き実りある年度となり、グループ内各クラブの御支援により「ロータリーを楽しもう」という目標に近づく事が出来た事を感謝し、報告とさせていただきます。

京浜グループ



2012-13年度を振り返って

京浜グループ ガバナー補佐 前場 弘 (東京蒲田RC)



佐久間ガバナー年度テーマ「ロータリーを楽しもう」でスタートした年度も早バトンタッチする頃になりました。1年を振り返ってみますと、しばしば開かれたグループ協議会では、忌憚のない活発な意見交換、情報交換が行われました。京浜グループ14クラブの会長・幹事の積極的な「ロータリー」への姿勢は素晴らしく、頼もしく感じました。

7月からガバナー補佐訪問として各クラブ協議会に出席し、ガバナー公式訪問に備えました。

公式訪問は8月2日の東京品川RC・東京港南RC・東京マリーンRCに始まり、11月19日の東京大崎RC・東京白金RCで全14クラブの公式訪問が終了。

クラブ周年行事は、東京品川中央RC45周年、東京田園調布緑RC20周年、東京港南RC40周年、東京マリーンRC20周年、東京白金RC20周年と各々特色ある周年行事が行われました。GSE受け入れで東京港南RCでは食事会を開催、東京羽田RCの協力で、日本航空整備工場、管制塔の施設見学、そのあと東京品川RCのお取り計らいで屋形船で

のリバークルージングで皆様楽しく過ごすことが出来ました。写真を来日記念としてDVDに収め全員にプレゼントし喜ばれました。

特筆すべき事として、第2750地区京浜グループ14クラブと第2640地区が協力し合い合同で、我が国の空の玄関である、羽田空港国内線と関西国際空港のターミナルビルに於いて、映像による広報をロータリーの誕生日と同じ2月23日からスタートして3月8日まで、フーチャービジョンでの「END POLIO NOW」の放映、アドビジョンでは「京浜14クラブの奉仕活動」の広報を2地区合同RI広報活動として展開、RI広報補助金を得ての初めての試みです。

これはロータリー・クラブの活動状況を広く一般の方々に訴求し、ロータリーの精神を印象付けるもので、公共イメージ向上に寄与できたと確信しています。

締めくくりに当たり、京浜グループ14クラブの会長・幹事と共に歩んだ1年、私にとって大きな宝になりました、この経験を活かせるよう努力しなければと肝に銘じているところです。最後に私を支えて下さいました中島光一グループ幹事に、心から感謝とお礼を申し上げたいと思います。

山の手東グループ



2012-13年度を振り返って

山の手東グループ ガバナー補佐 大和田 弘 (東京西RC)



私はロータリーに関して兼々思っている事の一つに「奉仕」があります。ガバナー補佐の役目と「二つの奉仕」を合わせ考えました。私はロータリーと言うよりクラブへの強い思いが今日の私の心の原点です。

ロータリーの原点。それは親睦と奉仕と言われますがロータリーの奉仕には広義と自己研鑽のそれぞれの意味の「奉仕」がある事をご理解戴ければと思います。

元RI会長のビチャイラタクル氏は日本公演の中で「ロータリーは原点に返らなければならない。ロータリーの原点は職業奉仕である」と訴え、その為には個人に重点を置き、各自が会員から啓発を受けて自己研鑽に励み、それを自己の事業を通して生かしていく事がロータリーの奉仕の大切な事であると問われました。事業の倫理性を離れてややも

すれば近年抛出する事が「奉仕」と思われがちですが、ロータリークラブはそれとは異なる「奉仕」理念に基づくクラブ運動である事をご理解下さい。そしてロータリークラブの言う「奉仕」とは、物理的な慈善事業ではなく、会員が例会に出席し、自己研鑽を行う場であるが故に「ロータリーの例会は人生道場である」の名言の示すところです。

次年度より「ロータリーの綱領は」は「目的」に変わります。その第一項は「知り合いを広める事により奉仕の機会とする」となります。「先ずは例会に出席、知り合いを広め話し合い、集まって奉仕」と理解出来ます。

これは再び世の中に「生きたロータリーの奉仕」の再来となる事でしょう。長期的かつ本質的な解決策を考え組織をよりシンプルにするのも大切でしょう。

山の手東グループ10クラブの会員の皆様と共に歩んだこの一年間、私にとって「我が心のロータリーライフ」を過ぎた事を深謝し、各クラブの益々の発展を祈念致します。

山の手西グループ



2012-13年度を振り返って

山の手西グループ ガバナー補佐 阿部 博道（東京世田谷南RC）



「ロータリーを楽しもう」佐久間ガバナーが提唱されたテーマをグループの1年間の目標としました。論語に「知る者は好む者に如かず、好む者は楽しむ者に如かず」とあるように、学ぶうち好きになり自然に楽しむ境地は、正にロータリアンの心境に通じるものがあります。まず年度の初めに心がけたのは、RIや地区の情報を伝達すると同時にグループの意見を集約して地区やガバナーにお伝えし、双方向での意思疎通を図ること、そしてグループ内の情報交換を密にし、親睦・交流を深めていただくことでした。

山の手西グループは、50周年を迎えた東京世田谷クラブから、創立間もない東京米山ロータリーEクラブまで、個性と特色のある12クラブが集まっていますが、グループ協議会やクラブ訪問を通じ、各クラブとも規模や特色を生かして奉仕活動を展開されており、改めてロータリーの素晴らしさを実感しました。そして、東日本大震災の復興支援を始め、地域奉仕や国際奉仕などに複数クラブが連携してより規模の大きい奉仕活動を展開する新たな方向性が見られることや、グループ内でも会員増強の取組や奉仕活動についての情報交換や合同の親睦委員会の開催など、クラブ

の枠を越えた連携を深めつつあり、この流れをさらに進展させていただきたいと考えます。

11月には「そのとき、今、これから」と題して東日本大震災をテーマにIMを開催しました。被災者に新聞を届け続けドラマにもなった河北新報社 太田編集局長による現地からの報告、津波で被災した大船渡ロータリークラブ会長として再び例会を立ち上げた金パスト会長の胸に響くメッセージ、思わず涙した方も多かったと思います。未曾有の災害にどのような支援ができるか、今何が必要とされているか、将来起こるべき直下型地震などの災害にどう対処すべきかなど課題は山積していますが、ロータリーと奉仕活動を考え続ける契機となれば幸いです。

さて、1年を振り返ると私個人はかけがえのない経験をさせていただきましたが、不慣れゆえ皆様に多くのご迷惑をかけたこと申し訳なく思っています。改めて佐久間ガバナーを始め地区役員の皆様、山の手西グループの皆様、そしていつも傍らで支えていただいた平井グループ幹事に、心から感謝の意をお伝えしたいと思います。末尾にロータリーへの思いと皆様の益々のご活躍を祈念して、好きな松陰の句の一節を引いて次年度にバトンタッチしたいと思います。ご支援・ご協力まことにありがとうございました。「一筋に 風の中行く 蜚かな」

多摩南グループ



2012-13年度を振り返って

多摩南グループ ガバナー補佐 水野 功（東京飛火野RC）



1年半前に始まったガバナー補佐研修から早いもので佐久間年度から舟木年度に移行する時期となりました。日本人として30年振り、3人目の田中作次RI会長の「奉仕を通じて平和を」のテーマのもと佐久間ガバナーの地区運営方針「ENJOY ROTARY」の通り多摩南グループ11クラブの会長、幹事の皆さん、会員各位、そして事務局の方々の結束力・チームワークに恵まれロータリーライフをこの1年十分に楽しむことが出来ました。

また、辰野研修リーダー、服部副研修リーダーに適切な指導を頂くとともに地区役員各位の真摯な態度に触れることが出来、自分にとって本当に得るところの多い素晴らしい1年となりました。11クラブを訪問し、また公式訪問を通してグループ内にあっても比較のお付き合いのなかったクラブを訪問することが出来、改めて自分のクラブを客観的に見つめ直す機会ともなりました。11月にはIMを「災

害支援の在り方について…現地に聞く」のテーマで被災地のロータリアン2名を交えパネルディスカッションを行い300名を超える方に出席を頂き、懇親会最後まで多くの方が参加され親睦の輪が更に広がり盛会裏に終了することが出来ました。

また、2月にはNYからGSEチームをお迎えして高幡不動、工場見学に続き「うかい鳥山」では芸者さんを交え有意義で楽しい国際交流を深めることが出来ました。次年度から本格的に始まる「未来の夢」計画についても財団の鈴木委員長始め委員の皆さんの熱意によってスムーズなスタートをすることが出来、正直ホッとしております。研修期間からの1年半、佐久間ガバナーのリーダーシップと包容力さらには献身的な行動力に心からの敬意と感謝を申し上げますとともに、同期のガバナー補佐の皆さんに感謝と御礼を申し上げます。

最後にこの間、献身的に支えて下さった渡邊グループ幹事に心から感謝とお礼を申し上げたいと思います。

多摩中グループ



2012-13年度を振り返って

多摩中グループ ガバナー補佐 石井 義八 (東京井の頭RC)



生業を第一としてたのを、ガバナー補佐を引き受けた以上、優先順位を変えてのことで日程の配分に苦慮したり、手もどり、勘違い等、年甲斐もなく余裕がなく時間に追われていた自分が見えます。

役員会で、辰野研修リーダーが経過報告でなくして、次に取り組む事案等に対しての考え方の必要性を求められましたが、ガバナー補佐の実務は当年度だけであり、年間に発生する事案にその都度、対応に終始し、先を見ての行動が出来なかったのが残念です。

年度初めグループ内の各クラブへの表敬訪問は前年度と同じで祝電に代えましたが、1994-95年度に会長をしてからかなり時間が空いてしまいましたし、やはり途中(2012年4月)からガバナー補佐を引き受けたことでもあり、各クラブへの提言等は綿密に引継があればと感じたものでした。また、多摩中グループ12クラブの中、5クラブで周年行事があることも考慮し、IMは前年から取りきめもあり行わない(次年度はIMを実行する)など引き継がれた

ことを行わざるを得ないものでした。しかしながら、グループ内の各クラブのクラブ協議会に出席したり、ガバナー公式訪問に同道したり理解が深まったものです。

地区とグループ内のクラブとのパイプ役といえども、種々と各クラブにお願いをする事が多々ありましたが、各クラブの会長をはじめ皆様のご協力、大変お世話になりました。

地区へ出て、当然のことながら新しい出会いが数多くありました。佐久間ガバナーの人徳からか和やかな地区の皆様にお世話になりましたが、ガバナー補佐同志のつながりが出来て、生涯の付き合いが出来たのも望外の幸であります。

大変感激したのは、佐久間ガバナーの計らいで、地区大会に於いて傘寿会員表彰の代表として壇上で記念品をいただいたことです。ありがとうございました。

末筆ですが、ガバナー補佐を何とか務められたのは、他のグループ不知ですが、若さあふれる相澤豪多摩中グループ幹事があってのこと感謝をいたしています。

多摩東グループ



2012-13年度を振り返って

多摩東グループ ガバナー補佐 千葉 孝良 (東京狛江RC)



一年前の7月よりガバナー補佐研修会がスタート。辰野研修委員長と服部副委員長の暖かいご指導により任務に就くことが出来ました。お二人に感謝申し上げます。日本から30年振りに選出された田中作次RI会長・佐久間ガバナーより、RI会長を盛り上げよう、結果として残せるのは財団への協力と会員増強であると叱咤激励を受けました。

ガバナー公式訪問に当たり、事前に各クラブからの質問を受け、ガバナーより懇切、丁寧にお話しいただいたことは公式訪問のあり方として特筆すべきことと思います。クラブ会長、幹事もガバナーの人柄に深く接する事が出来、感激しておりました。ガバナーにあらためて感謝申し上げます。IMの開催は田中RI会長の「奉仕を通じて平和を」佐久間ガバナーの「ロータリーを楽しもう」を念頭にJAXA技術参与の堀川康氏に「宇宙空間の平和利用」について講演を頂き、懇親会ではアルゼンチンタンゴの演奏のもと10ク

ラブが一つになり親睦の絆が出来ました。まさに、「ロータリーを楽しもう」の実践です。G.S.E、地区のプログラムとして、ニューヨークからの受入、東京武蔵府中RCと東京調布RCが快くお引受け下さり、大国魂神社、アニメ制作会社、日活撮影所、深大寺でのお炊き上げ等来日者のニーズに合わせた企業を選択し、大きな感動と感銘を与えることが出来ました。グループ協議会を通じ、感じたことは10クラブ中6クラブが30名前後であり、地区への委員の派遣等、財政的にも負担を感じていることは痛感しました。

しかしながら、各クラブは各々特性を活かし地域と密着した奉仕活動を実践している素晴らしいクラブであることを申し述べます。多摩東グループは大変まとまったグループであり、この一年間楽しく活動出来たことに各クラブの会長、幹事、事務局の皆様にご感謝申し上げます。

又、私を支えてくださったグループ幹事の田村さん、事務局の芹澤さんに特段に感謝を申し上げ一年の報告と致します。

感謝 感謝の一年です。



2012-13年度を振り返って

PBGガバナー補佐 Mike Perrin (Rotary Club of Guam Sunrise)



ロータリー年度2012-2013も残りわずかとなりました。パシフィックベイシンググループの8つクラブ及びクラブリーダーの皆様にはこの飛躍の年に多大な貢献をいただき心より感謝申し上げます。また第2750地区、ガバナー佐久間様の地区役員及び幹事と補佐の方々には年間を通じてご指導、援助を賜り誠に有難うございました。パシフィックベイシンググループ地区副幹事の笹山園美さんには間際の依頼を快く承諾頂く事も多々ありました、また不断の努力と援助には特別な感謝の意を表します。皆様との共同事業で培ったこの経験はとても大切な宝物となりました、これは始まりでありこれからの更なる発展の糧としてパシフィックベイシンググループを盛り上げていきたいと考えます。

パシフィックベイシンググループ PETSから1年が過ぎ、グループ内の8つのクラブの年間計画から実行への一つ一つの足取りを間近で証人出来た事は万感の思いです。各クラブごとの進路は様々でしたがロータリーの理念を推進、担当地域で見事に計画を成就されておりました。昨年12月にはガバナー佐久間様の補佐としてパシフィックベイシングへの公式訪問へ同行させていただき、我々の地域活動がロータリー精神に根付いている事を視察しました。確かに課題はありますが、各クラブの絶え間ない努力と前向きの姿勢がロータリー精神と共感し成功に導く道しるべとなります。ガバナー佐久間様からのメッセージを忘れる事なくメンバーの増強と育成、ロータリー財団への援助および地区の主導権を遂行する事を願っております。

グアム ロータリークラブの過大なる成功、今年1年間で18名のポール・ハリス・フェローを選出しております。ノーザン グアム クラブはロータリー平和をピースメモリアル計画を通じて推進しております。サンライズクラブでは今年の地区大会でロータリアンのエド カラウ氏が栄誉の『超我の奉仕』の賞を受賞いたしました。タモンベイクラブではユースサービスを計画立案、新しい2つの学校のインターアクトクラブのスポンサーに成功しました。サイパン クラブはサイパンでは卓越した公共団体でユースのバスケットボールリーグの援助、またサイパンでのピースメモリアルを維持しております。ポンペイ クラブでは10年以上も1万ドルの奨学金制度を継続、民間病院

の援助と周りの島々の研究費の助成を行っております。チューク（トラックラグーン）クラブでは様々な識字プロジェクト、地域医療プロジェクトを援助しております。パラオ クラブでは大型台風ボパの救済活動、地域への貢献をモットーに活動しております。

今年2月、東京での地区大会には約40名のロータリアンが当地から参加、パシフィックベイシングを代表でき光栄です。一人一人のロータリアンが多忙な時間を縫って個人の予算で大会に参加、親睦を深められた事はロータリー精神の現れだと理解しております。地区大会をホスト頂いた東京目黒クラブには大変感謝しております、また毎年パシフィックベイシングの歓迎昼食会をホストいただいております東京広尾クラブの皆様にも感謝の意を表したいと思えます。地区ガバナー補佐としてロータリー組織の偉大さと何百、何千人のロータリアンが献身的にロータリーを支えている事を学ばせて頂きました。今後のロータリーの発展に貢献、寄与を継続する事を実践し続ける所存です。

パシフィックベイシングクラブと東京地区のフレンドシップの拡大、長年にわたる信頼関係の蓄積は素晴らしいものです。グループフォーワンのプロジェクトも活性化され相互関係もこれまで以上にパイプが太くなっております。

ニューフューチャービジョン助成金は現段階では課題が多くみえますが、ロータリアン一人一人の忍耐と努力の積み重ねで成就出来ると確信しております。各地域で必要とされているプログラムをロータリー支援で賄う、何とも素晴らしい事でしょうか。時間が許す限りロータリークラブのウェブサイトを開覧し、ロータリアン誌に目を通し同僚ロータリアンにも勧めてお互いの知識、見識を深めてください。素晴らしいアイディア、新しい助成金を必要としている地域プログラム等のマッチングを見出す事も可能となるでしょう。

私の後任の、地区ガバナー補佐候補のノエル ボイラン氏もロータリーと地区ガバナー候補の舟木様、役員・幹事の方々との素晴らしい架け橋となるでしょう。私の任期は終わりに近づいておりますが、ロータリーとパシフィックベイシングへの忠誠は変わりません。私に出来る事があれば何時でもお声掛けください。

クラブ支援委員会



2012-13年度を振り返って

クラブ支援委員会 委員長 鬼島 弘明 (東京西RC)



「ロータリー活動の原点はクラブ」にあり、クラブの活性化こそがロータリーの発展を約束します。

「クラブ支援」に対する佐久間ガバナーの強い思いを受けて、当委員会はクラブ支援を念頭に「委員会活動を楽しむ」「奉仕活動を楽しむ」「ロータリーを楽しむ」

をモットーに活動しました。5つの小委員会、①職業奉仕 ②社会奉仕 ③国際奉仕 ④親睦・親善 ⑤ロータリー情報 は夫々積極的に「クラブ支援活動」を実施し、実績を残しました。

＊ 職業奉仕委員会は34クラブに於いて卓話を行い、理解され難いと言われる職業奉仕に付いて「職業奉仕の理念」を基に、職業奉仕がロータリアンの奉仕活動の第一歩であることに理解を求めました。

地区内クラブの内15クラブに職業奉仕委員会が未設置なのは残念なことです。

＊ 社会奉仕委員会は地区内8グループ全ての協議会に於いてセミナーを実施しました。

職業奉仕は「理念」、社会奉仕は「行動」という「理念」と「行動」に関する件と地域に根差した社会奉仕の重要性に関して理解を求めました。

＊ 国際奉仕委員会は各クラブの国際奉仕プロジェクトに対す

るアドバイスと情報提供を行うかたわら、ロータリアン個々人が海外ロータリアンと親睦・親善関係を構築することの重要性に関して理解を求めました。

＊ 親睦・親善委員会は各クラブの親睦活動支援を行うかたわら、日韓の親睦・親善に力を傾注しました。日韓短期青少年交換、日韓親善会議2012、第2750地区大会に於ける韓国ロータリアンへの対応、韓国第3650地区大会への親善訪問 等であります。この奉仕実績が多少とも日韓友好関係に資することを期待します。

＊ ロータリー情報委員会は30年程前に遡り、規定審議会で採択された制定案・決議案を時系列的に整理した資料を作成し、「定款・細則 変更の歴史」としてガバナー月信2月号に掲載しました。

ロータリーの本質を損いかねない「変更の歴史」をひもとく上で参考にならうかと思います。

本年4月21日～26日、3年振りに開催された規定審議会に関しては規定審議会代表議員新藤バストガバナーから詳細な報告を頂いています。必然的に定款・細則の変更が伴いますので、各クラブに正しい情報が伝達されるよう尽力します。以上クラブ支援委員会、1年間の活動を振り返ってみました。クラブ支援委員会委員長として、各小委員会の奉仕活動実績が「クラブの活性化」に貢献する事を信じて止みません。

会員委員会



2012-13年度を振り返って

会員委員会 委員長 小粥 定美 (東京成城新RC)



今年度、会員委員会は会員増強・拡大委員会に加え会員維持の重要性から会員維持委員会を新たに設け2つの委員会でスタートしました。

当地区の会員数は茲10数年前対前年右肩下がりに減少し続け一時6,000名以上いた会員も現在4,500名と30%近い減少を来しております。

それらの数字を分析してみますと地区内クラブのご努力で毎年相当数の会員が新しく入会しているにも関わらずそれ以上の会員が退会しているのが分かります。退会は勿論、色々な理由がありその中には、転勤、健康上の問題、又経済的な理由とか已むを得ないものがある半面、クラブ内に自分の存在場所が無い、面白くない等事前に把握する事により退会を防止する事の出来る理由もあると思います。今年度は特に会員維持に力点を置き各クラブにお願い致しました。

2012年5月29日に実施した会員増強セミナーでも会員維持につきパネルディスカッションを行い、会員維持に大

きな成果をあげているクラブの代表者にパネリストになって頂きその方法について発表をして頂きました。統計上退会の多い月は年度末の6月で、一年の退会者数の約40%を占めていることから3月から各グループ協議議会に出席させて頂きクラブ会長・幹事の皆さんに退会防止の対策等についてお話をさせて頂きました。

会員増強については各クラブの自クラブへの新会員の入会促進に加え、サクセス・ジャッパン (SAKUJI) 作戦への参加のお願いを致しました。

今年度のRI 田中作次会長の10数年減少し続けている日本の会員数を何とか100,000人に戻してほしいとの要請を受け、サクセス・ジャッパンを実施する事になりました。

この作戦は全国のロータリアンが地理的条件から自分のクラブには入会できないロータリアンに相応しい友人、知人、親戚等をその地域のクラブに紹介し合うキャンペーンですが現在のところ未だ浸透が不十分で十分な成果を上げておりません。この活動は今後3年間継続される事になっており当地区でも更にクラブ及び会員の皆さんにお願いして行くことが必要であると思います。

新世代委員会



2012-13年度を振り返って

新世代支援委員会 委員長 古澤 俊明 (東京西南RC)



青少年交換委員会：毎年繰り返される交換学生の受け入れと派遣の業務は、委員会に所属しないと分からない激務です。青少年の成長と多くの友人を得ることが世界平和の礎となっています。ロータリーの友3月号に掲載されている田中作治RI会長のメッセージを実現するためにも各ロータリークラブには、外国からの学生受け入れにより一層のご協力をお願いします。

インターンシップ委員会：第2750地区と東京都教育委員会の連携で7年度を迎えた今年は、約100の事業所で、約1,000名の高校生が就業体験をしました。子供たちは、この体験で生活態度がすっかり変わります。今年は、特に初年度から活発に活動をして頂いた4RC（八王子南、国立白うめ、城西、世田谷南）が表彰されました。

RYLA委員会：9回目になるRYLAセミナーは、国際連合大学副学長、浄土真宗僧侶、慶応大学教授、東京学芸大学准教授というそうそうたる講師をお迎えして行われました。テーマ「国家のあるべき姿とあなたの役割」というグループ別ディスカッションでは、徹夜組も現れ、2泊3日でこれ

だけ熱くなれるのかという体験でした。

ローターアクト委員会：企画力と行動力を併せ持った若いアクトは、特に、東日本震災発生直後の緊急支援期、発生から半年以上過ぎた生活支援期、発生から1年以上過ぎた復興支援期とすでに4～5回の現地訪問をし、目の見張る活動を致しました。年次大会では、これからも企画したことはすぐに行動を移すことを宣言しました。

インターアクト委員会：現在9つのクラブが福祉施設訪問、清掃活動、交通安全街頭活動、献血手伝い、ペットボトルキャップの回収、車いす修理、募金活動、child care(迷子のお世話)など各クラブ特有の活動を行いました。

ロータリー世界平和フォーラム広島：2013.5.17～18に、田中作治RI会長の重要なプログラムとして開催され、「平和はあなたから始まる (Peace Begins with You)」のテーマのもとに50数カ国の青少年が広島原爆記念館隣りの国際会議場に集い、世界平和の構築のための話し合いがもたれました。第2750地区からは、交換留学生、ローターアクター、ローテックス、ライラリアン等数十人が参加した。

ロータリー財団委員会



2012-13年度を振り返って

ロータリー委員会 委員長 鈴木 義明 (東京武蔵国分寺RC)



世界には、清潔な水、経済の安定、健康と疾病予防、教育、平和と安全な社会などさまざまなニーズを求めている人々が沢山あります。此のフレーズで本年度のロータリー財団委員会は、スタート致しました。

ご存じ「未来の夢計画・FV」の本格的準備の年です、当年度のプログラムを実行しながらFVプログラムの勉強/活動と二倍行方大変ハードの年でありました。2013年の新年を迎える1月には、アメリカ、サンディエゴにて開催されました、ガバナー研修に参加してのFV勉強をして参りました。また、本年度は、財団のクラシックなプログラムで有ります「GSE」と「国際親善奨学生」の2つが終了いたします。その最後を飾ってGSE委員会では、ニューヨークと東京間でのGSEが実施されました、またドイツ国際親善奨学生がやって来ました。これらの2つ伝統あるプログラムの最後に携わる事が出来た事は大変思い出となりました。

一方、当地区の懸案事項でありました「学友会」を立ち上げ第1回の総会も大変盛況にて終了致すことが出来ました、また地区大会では、初めて試みる友愛広場を利用して

の各6つの小委員会の活動を紹介させて頂き多くのクラブ会員の方々と出会いを頂いたことを思い出します。

ロータリー財団の活動は、他の委員会と大きく異なることは、年度を渡っての活動です2012-13年度の財団活動は、その前年度2011年11月には、本格的にスタートを致します。

したがいまして、2012年11月に入りますと、次年度からスタートするFV準備が重なり委員会活動が例年になく活発化致しました。2013年に年明け早々、各クラブの皆様が待ちに待った補助金申請 (FV) の受付開始や、奨学・学友委員会が募集した「奨学生」の留学承認手続の最終段階に入ると同時に、2014-15年度の奨学生募集準備スタートとなり大変忙しく活動する時期となります。

また、本年度は過去に無い財団寄付に対するご協力を頂き心から感謝する次第です。

最終段階に入りました現在各クラブから前年度募集致しました「地区補助金」申請承認奉仕事業も終了段階に入り各クラブ奉仕事業報告書が地区財団委員会へ提出されて参ります、奉仕の感動、喜びが詰まった報告書をチェックする時は、財団委員会メンバーの苦勞も喜びに変わる今日この頃です。



2012-13年度を振り返って

米山記念奨学委員会 委員長 井上 隆彦（東京昭島RC）



来日留学生の出身地で多数1位2位の国と日本の摩擦事例が起きてマスコミが大きく取り上げる中、良識有るロータリアンが優れた見識と強い信念でクラブの米山奨学事業をリードして戴き、お陰様で第2750地区の米山奨学事業（外国人留学生支援活動）は大きく前進した。

1.米山奨学生を直接支援する活動：8月・12月に米山奨学生・カウンセラー・米山学友・ロータリアン交流懇親会。3月に米山梅吉記念館見学研修旅行。5月の世界平和フォーラム広島に参加[New]。新規奨学生対象に富士山（世界遺産・文化遺産）見学研修会を6月に実施 [New]。日本文化の理解と奨学生間やロータリアンとの絆が深まった。

2.奨学生の米山奨学期間終了式：2月に実施。優秀で好青年の米山奨学生23名が巣立った。米山学友として母国と日本の懸け橋になり、自ら選んだその分野で大成長・大活躍して欲しい。



3.新規奨学生オリエンテーション：4月に13カ国地域から新しい米山奨学生25名を迎えた。

4.カウンセラー支援活動：4月にカウンセラー説明会、9月にカウンセラーと地区米山委員がテーブルディスカッションするセミナーを開催。

5.クラブ米山奨学委員長の支援：7月にテーブルディスカッションの米山奨学委員長セミナー実施。1月にパネルディスカッション形式の米山委員長・会長合同のセミナーを開催 [New]。忌憚のない意見交換が活発に行われた。

6.米山奨学生の募集活動：6月に米山奨学制度の大学説明会を開催。指定校を22大学から33大学に増加 [New]。門戸を広く開き多様な大学や出身地から優秀な学生を採用する。

7.新規米山奨学生の世話クラブ・カウンセラーの委嘱：クラブにアンケート調査を実施。

8.米山寄付の増進活動：（公財）米山奨学会のHPよりクラブ別米山寄付金実績表を得て、地区米山委員会は、毎月クラブの米山寄付金の目標・実績対比表を作って全クラブに配信 [New] し、クラブの米山奨学事業の活動に情報提供した。

9.米山奨学生や米山学友の卓話講師派遣：クラブ例会で卓話講師を務めさせて戴けるように全クラブに要請し多くのクラブで実現した。

多摩東グループ 活動通信



第5回 東京稲城ロータリークラブカップ フットサル大会

東京稲城RC 会長 川島 保之



『東京稲城ロータリークラブカップ』は、フットサルを通して子供たちが身体を鍛え、フェアプレーの精神を養い、創造力豊かな人としての成長する事を目的に、青少年健全育成を目指すものとして始まりました。今年で第5回を迎え、幼児から小学三年生までの稲城市の子供たちの交流を図る場として定着してきました。本年も児童、保護者、稲城市教育委員会、稲城市サッカー連盟、東京ヴェルディの関係者など500名超の参加をいただき、当ロータリークラブの広報活動の場ともなっております。

当日は3月末にも関わらず、真冬のような底冷えする中、

学年が上がるにつれて組織的な攻撃や守りが見られ白熱した試合が続きました。保護者の皆様や監督など、熱の入った声援の中、最後の表彰式では参加者の笑顔と会場からの大きな拍手が印象的でした。ロータリークラブメンバーも一緒に楽しんだ一日でした。



ロータリーふれあい農場

東京iシティRC 奉仕プロジェクト委員長 内田 忠雄

まあるい地球に、まあるい玉ねぎを育てよう！の合言葉の下、秋晴れのすがすがしい日の中で、地域の子供たちに玉ねぎの植え付けから収穫までの体験をする事業を行いました。

収穫は、約半年後になりますが、植え付け当日は、参加者全員が畑に広がり、メンバーの指導を受けながら、玉ねぎの苗を、自分ひとりで、又、あるいは、お母さんやお父さんと一緒になって、手を土だらけにして楽しそうに植えていました。

当初の目的であった～土と自然と人と～と題して、自然の中で直接土に触れ 親子、地域の人々、東京iシティロータリー・クラブメンバー そういった人々との、心と身体とのふれあいを通して豊かな愛と感性を表現できる子供達に育ってほしいと願って行いました。

今回の事業は、小さい試みではありましたが、子供達にとって有意義な事だったと思います。

6月の収穫については、気候も暖くなり、苗も順調に育っており子供達の笑顔が目に見え、今から収穫を楽しみにしています。

余談ではありますが、当日の様子は、多摩テレビ『TTV—NOW』 デジタル111chで毎日4回1週間放映されました。



米山功労者ご紹介

ご協力を感謝いたします

■ 米山功労者

平井 顕吉君	東京原宿	2013.4.8	4
井口 靖之君	東京成城新	2013.4.8	1
山下 一平君	東京芝	2013.4.10	1
鈴木 達己君	東京三鷹	2013.4.12	5
田村 安久君	東京稲城	2013.4.12	2
伊東 広君	東京芝	2013.4.18	3
蜂巢 義和君	東京昭島中央	2013.4.23	2
小島 知明君	東京田園調布緑	2013.4.25	19
藤宮 和三郎君	東京西南	2013.4.26	4

ポール・ハリス・フェローご紹介
◎はマルチプル
ご協力を感謝いたします

◎ 森田 光一君	東京大森	4月
◎ 浅井 隆君	東京田園調布緑	4月
◎ 板敷 歡成君	東京田園調布緑	4月
◎ 小島 知明君	東京田園調布緑	4月
◎ 三木 榮任君	東京田園調布緑	4月
◎ 宮川 正雄君	東京田園調布緑	4月
◎ 大竹 恵生君	東京田園調布緑	4月
◎ 齊藤 司享君	東京田園調布緑	4月
◎ 瀬戸 正道君	東京田園調布緑	4月
◎ 鈴木 規方君	東京田園調布緑	4月
◎ 徳山 秀男君	東京田園調布緑	4月
◎ 宮島 浩章君	東京西	4月
◎ 宮下 忠芳君	東京恵比寿	4月
◎ 橋 倍男君	東京世田谷中央	4月
◎ 藤野 益夫君	東京飛火野	4月
Mae Hsieh	グアム	4月
Mutsuko Minegishi	タモンベイ	4月
◎ John R. Onedera	タモンベイ	4月
Marco Polo Tezuka	タモンベイ	4月
◎ Enzo Turrini	タモンベイ	4月

新ベネファクターご紹介

ご協力を感謝いたします

坂本 光彦君	東京大井	4月
小島 篤君	東京西	4月
右田 徹君	東京八王子	4月
中村 千晶君	東京八王子	4月
松本 智量君	東京八王子北	4月
北村 明男君	東京国立白うめ	4月

**川森 憲一**(東京武蔵国分寺RC)

2013年3月12日逝去(63歳)

1992年5月11日入会

2004-05年 クラブ会長

ベネファクター、ポール・ハリス・フェロー
米山功労者**岸澤 幸夫**(東京日本橋西RC)

2013年3月31日逝去(享年69歳)

1999年5月24日入会

ポール・ハリス・フェロー

米山功労者3回

文庫通信 (308号)


「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリアンの著書より

◎「やさしいロータリーの話 ― 間柄の美学」

佐藤千壽 1984 27p

◎「企業の社会的責任」

佐藤千壽 D. 2590 1996 26p

◎「企業行動のあり方」

佐藤千壽 D. 2770 1996 69p

◎「決議23-34(セントルイス宣言) 成立の経緯」

佐藤千壽 1985 24p

◎「ロータリー論策―親睦と奉仕」

佐藤千壽 1996 70p

◎「井坂孝の足跡」

鈴木清次編著 2009 221p

◎「ロータリー夜話」

津田 進 1987 116p

◎「ロータリー茶話」

津田 進 1989 143p

◎「ロータリー余話」

津田 進 1994 106p

◎「ロータリー夜話・茶話《抜粋編》」

津田 進 1994 141p

上記申込先：ロータリー文庫

〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

http://www.rotary-bunko.gr.jp

開館

午前10時～午後5時

休館

土・日・祝祭日

深く哀悼の意を表し御冥福を祈ります
**御田 信博**(東京日本橋西RC)

2013年4月1日逝去(享年69歳)

1993年9月14日入会

2010-11年度 クラブ会長

ポール・ハリス・フェロー

米山功労者2回

**大貫 一**(東京八王子RC)

2013年4月23日 逝去(享年88歳)

1964年4月 東京八王子RC 入会

1967年8月 退会

1972年7月 東京八王子RC 再入会

1974-75年度 クラブ幹事

1978-79年度 多摩南分区幹事

2000-01年度 第42代クラブ会長

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

米山功労者

★国際ロータリー第 2750 地区出席報告 (4 月分)★

District 2750 Membership Attendance Report April 2012

区分	クラブ名	例会	出席率	会 員 数			区分	クラブ名	例会	出席率	会 員 数		
				12年7月1日	13年4月末	増減					12年7月1日	13年4月末	増減
千代田グループ	東 京 南	4	73.79	190	191	1	多摩南グループ	東 京 八 王 子	4	79.23	57	57	0
	東 京 芝	4	89.55	85	83	-2		東 京 町 田	4	67.75	56	55	-1
	東 京 新 橋	4	82.28	48	52	4		東 京 日 野	4	86.10	31	32	1
	東 京 赤 坂	4	70.00	40	44	4		東 京 八 王 子 西	4	79.29	74	81	7
	東 京 み な と	4	82.00	45	51	6		東 京 町 田 ・ 中	4	75.28	34	33	-1
	東京レインボー	4	70.16	32	31	-1		東 京 八 王 子 東	4	88.09	20	21	1
	東 京 麻 布	4	73.30	20	20	0		東 京 八 王 子 南	4	82.73	61	62	1
銀座・日本橋グループ	東 京 銀 座	4	75.73	157	153	-4	多摩中グループ	東京町田サルビア	4	81.91	21	24	3
	東 京 日 本 橋	4	78.33	176	190	14		東 京 飛 火 野	5	79.00	27	29	2
	東 京 築 地	4	81.03	69	71	2		東 京 町 田 東	3	71.21	24	23	-1
	東京日本橋東	3	85.11	47	47	0		東 京 八 王 子 北	4	81.08	37	37	0
	東 京 中 央	4	86.20	206	212	6		東 京 立 川	4	93.83	97	101	4
	東京日本橋西	4	87.97	40	41	1		東 京 小 金 井	4	98.95	29	37	8
	東京銀座新	3	83.95	61	64	3		東 京 国 分 寺	4	89.62	36	43	7
京浜グループ	東京シティ日本橋	4	79.65	43	44	1	多摩東グループ	東 京 三 鷹	4	87.20	37	36	-1
	東 京 中 央 新	4	60.30	42	42	0		東 京 昭 島	4	80.33	49	50	1
	東 京 羽 田	4	84.36	39	43	4		東 京 国 立	4	97.06	46	47	1
	東 京 品 川	4	85.25	54	55	1		東京立川こぶし	4	90.11	78	91	13
	東 京 大 森	4	85.38	45	47	2		東 京 井 の 頭	4	96.20	24	27	3
	東京品川中央	4	84.45	49	50	1		東 京 昭 島 中 央	4	72.00	43	47	4
	東 京 大 井	4	67.08	17	22	5		東京武蔵国分寺	3	93.00	49	50	1
山の手東グループ	東京田園調布	4	74.07	47	48	1	バシフィック・太平洋グループ	東京小金井さくら	4	83.33	23	24	1
	東 京 港 南	4	81.94	20	19	-1		東京国立白うめ	4	73.28	23	23	0
	東 京 大 崎	4	83.09	33	33	0		東 京 府 中	4	87.51	59	55	-4
	東 京 蒲 田	4	96.15	58	58	0		東 京 調 布	4	89.60	63	67	4
	東 京 京 浜	3	78.25	24	23	-1		東 京 多 摩	4	72.98	26	23	-3
	東京田園調布緑	4	82.27	25	28	3		東 京 狛 江	4	83.88	28	29	1
	東京マリーナ	4	81.82	12	12	0		東 京 稲 城	3	74.71	28	31	3
山の手西グループ	東 京 白 金	4	82.40	27	27	0	国内85クラブ計	東京武蔵府中	4	85.53	54	53	-1
	東 京 高 輪	2	75.00	23	23	0		東京たまがわ	3	75.00	25	28	3
	東 京 西	3	78.39	154	158	4		東京多摩グリーン	4	91.28	34	33	-1
	東 京 城 西	4	84.34	68	74	6		東京調布むらさき	4	85.77	84	86	2
	東 京 西 南	4	80.65	50	51	1		東 京 i シ テ ィ	4	80.95	22	21	-1
	東 京 原 宿	4	76.00	22	25	3		Guam	4	54.00	71	71	0
	東 京 杉 並	4	76.36	37	37	0		Saipan	5	66.18	40	34	-6
山の手東グループ	東 京 神 宮	4	84.37	33	32	-1	地区93クラブ計	Tumon Bay	5	45.35	83	80	-3
	東 京 恵 比 寿	4	79.70	103	104	1		Northern Guam	4	57.76	31	26	-5
	東 京 広 尾	4	76.79	13	14	1		Pohnpei	4	52.00	17	17	0
	東 京 渋谷	5	85.90	32	34	2		Palau	4	65.00	19	17	-2
	東 京 六 本 木	4	74.00	50	52	2		Guam-Sunrise	5	56.00	27	29	2
	東 京 世 田 谷	4	90.75	53	59	6		Truk Lagoon	4	22.00	13	14	1
	東 京 目 黒	4	92.91	39	40	1							
山の手西グループ	東 京 成 城	5	79.84	19	24	5							
	東京世田谷南	5	73.00	93	95	2							
	東 京 城 南	2	58.00	33	37	4							
	東 京 山 の 手	4	85.84	61	60	-1							
	東 京 成 城 新	4	79.26	41	41	0							
	東 京 青 山	4	89.42	27	26	-1							
	東京自由が丘	4	73.09	20	20	0							
山の手西グループ	東京世田谷中央	4	96.67	7	15	8							
	東 京 米 山 友 愛	4	70.20	28	30	2							
	東京米山ロータリーEC2750	3	81.48	28	28	0							
			</										

編集後記

年度初め大先輩に「ガバナーのご意向をきちんと会員にお伝えする覚悟は？」と問われ、その重責を果たすべく経験豊富な委員の協力のもと日々取り組んで参りました。

またWeb版のみとなり閲覧にはご苦労をお掛けしましたが、Webならではの豊富な活動報告をご覧頂けたことと思います。

当年度を無事終えられましたのも、ご執筆頂いた皆様、

記事の本なる活動に携わられた全ての会員、発行に多大なご協力を頂いた公共イメージ委員会のお陰と一同心より感謝御礼申し上げます。

今後は委員会を離れ年次報告書発行へ孤軍奮闘。皆様の変わらぬご指導ご協力を宜しくお願い申し上げます。

2012 - 13 年度ガバナー月信・IT 委員会 委員長 羽田 伊助 (東京目黒 RC)

国際ロータリー第 2750 地区 2012 - 13 年 ガバナー 佐久間 崇源

〒 105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F 電話 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

Rotary International District 2750 2012 - 13 Governor Takamoto Sakuma

KOKURYU SHIBA-KOEN BLDG. 3F, 2-6-15 SHIBA-KOEN, MINATO-KU, TOKYO, JAPAN 105-0011 PHONE 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

発行：ガバナー 佐久間 崇源 (2012 - 13) ©Takamoto Sakuma 2013

編集・制作：ガバナー月信・IT 委員会 委員長 羽田 伊助 副委員長 木村 清信 副委員長 竹平 時彦 副委員長 織田 ゆり子

舟橋 千鶴子 石黒 重徳 畑中 義雄 浅見 省三 アンドリュー・ウォン 河村 勝久 坂場 一隆 田中 廣 堀口 昇治

望月 耕次 山見 真弘 小高 俊明

ホームページアドレス

<http://www.ri2750.org/>